

県外教育機関研修

富山の視察に行ってきました

6月29日・30日・7月1日の3日間、矢澤副会長を代表に総勢20人で富山市立堀川小学校、富山市立興南中学校への視察研修に行ってきました。

富山市立堀川小学校

堀川小学校では、「自主創造 ーくらしをみつめ 追究する子どもー」を学校教育目標に、子どもたち自身が自らのくらしを作り出していくその過程を、校長先生をはじめとして全教職員が一丸となって支え、見守っている様子がとてもよくわかりました。

堀川小学校には、日課の中にいわゆる掃除の時間が位置付けていません。「朝活動」と言って、子どもたちが自主的に自分のしたい分担の掃除を行います。一人ひとりが、自分にとっての意味を見い出しながら取り組んでいました。このことを通して、自分の決めたことに責任を持って取り組み、自ら動き出す力を身につけさせようという意図が感じられました。

朝の会、帰りの会も充実しています。「くらしの時間」という名前で位置づいており、自分の思いや願い、そしてその理由等を発表し合います。子どもたちは、友だちの思いをよく聞き、それに関連づけながら自分の考えを述べます。このお互いの考えを聴き合う「くらしの時間」も、学校教育目標具現のために、きちんと位置付けていました。自分で自分の生活をふり返り、自らどう生活していけばいいのか自ら決めだし、友だちとその思いを共有して共に育つことを大切にしようとしている意図が強く感じられました。



くらしの時間（6年生）

授業では、一人ひとりの子どもが対象に対する自分の思いや願い、見方、考え方をしっかりと語る姿、それを聞いている子がしっかりと受け止めている姿がみられました。一人ひとりの発する言葉の一文一文がとても長く、発言する時間も長いことに驚かされました。



社会科「国道41号線」（3年）

参観させていただいた全ての場面で、教師が子どもの出を待とうとする姿が徹底されていました。ときには、教師が整理したり方向付けたりすることもありましたが、原則的には、子どもの発想や考えを大事にし、子どもと共にしっかりと受け止めようとする姿がとても印象的でした。そして、学校教育目標で願う子どもの姿が子どもの姿となってあらわれていることに感銘を受けました。

富山市立興南中学校

興南中学校は、一昨年度から、生徒の現状をしっかりと見つめることを出発点として学校作りに取り組まれた学校だそうです。参観させていただき、その取り組みの様子がよくわかりました。学校作りの中核に「学力向上」を据え、校長先生のリーダーシップの下、全教職員が一丸となって前に進んでいる点が素晴らしいと思いました。また、学校作りに生徒を参画させるということも大変勉強になりました。「学力向上集会」で、学習することの大切さを発表し合う生徒の姿は圧巻であり、確実に育っている様子がうかがえました。

さらに、「学力向上」の基盤に「学級力」の向上を置いている点も参考になりました。先生方だけでなく、生徒も「学級力」を意識していることが、授業中の生徒の学びの姿や各学級の掲示物から伝わってきました。教職員と生徒が一つになっているの

学級・学校作りに取り組む姿がについて、学ぶことがとても大きかったです。

今回の研修の参加者全員、二つの学校を参観し、多くのことを学ぶことができました。



なお、この研修について、10月に予定している報告座談会で詳しく報告する予定です。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

また、座談会の模様と研修の成果について、雑誌「上伊那教育」133号、134号においても報告します。